

JICA 日系社会シニアボランティアの小澤道子です。アルゼンチンからお便りします。

7月26日、ブエノスアイレスから
ここサルタ市にやって来しました。
サルタ市はアルゼンチンの北西部に位置する、
アンデス山脈に囲まれた観光の町です。亜熱帯
気候ということですが、標高約 1100m という
こともあり、とても過ごしやすい気候です。



周囲には標高約 3450mにあるサリーナス・
グランデという巨大な塩湖や、巨岩が立ち並ぶ
カファジャテ溪谷、虹色の山があるウマカラ
溪谷などがあり、多くの観光客を魅了していま
す。

この美しい街で快適なボランティア活動ができるのかと思いきや、なかなかそうはいきま
せん。こちらに来てもうすぐ 1 カ月だというのに、アパートが見つからず、ホステル住ま
いです。トイレ、バス、キッチン共同のホステル生活も JICA のボランティア根性で何とか
乗り切っています。でも、やはり住居が決まらないというのは落ち着かないものです。

さて、私の活動は、この町の日本人協会が運営している日本語学校で日本語を教えること、
そして日本人協会主催の文化活動に協力することです。活動のほうは、追ってご紹介した
いと思いますが、今回はサルタ市の街の様子をご紹介します。

街の様子

大変興味深いのは、午後 1 時から 4 時ごろまで昼寝をする「シエスタ」という習慣があり
ます。賑やかな表通りも午後 1 時を過ぎるとぐっと人通りが少なくなります。お店だけで
なく、教会も郵便局も一斉に店じまいしてしまいます。本当にゆっくりと時間が過ぎてい
ます。



犬もシエスタ中

そして、もう一つ驚いたことがあります。
この町はワインだけでなく、ビールも有名です。
でも、空き瓶を持って行かないと売ってくれません。
リサイクル対策だそうです。『今日は疲れた、
自分へのご褒美にビールでも』というときに、
レジの女性にスーッとビールを取り上げられたと
きは本当にかっかりしました。
では、最初のビール瓶はどこで買うのでしょうか。
今になってやっとわかったのですが、キオスク
(街角にあるコンビニに似た小さな店)で買う
そうです。でも、どのキオスクでも買えるわけでは
ありません。あちこちのキオスクをのぞいてやっと
見つけました。



もう一つの特徴は、ペルーやボリビアと
同じようにインディオの人々がたくさん
暮らしていることでしょう。1999年に
サルタ近郊のユヤイヤコ山で、約500年前に
インカの生贄として神にささげられた幼い子供
のミイラが見つかりました。ミイラといっても
ミイラ化せず、皮膚の弾力も残っていたそう
です。街の中心部にある考古学博物館に、
興味深い資料といっしょに展示されています。



このサルタ市で2年間、JICA 日系社会シニアボランティアとして活動します。
いろいろな活動内容を少しずつお伝えしたいと思いますので、どうぞ引き続き、このサイ
トにアクセスしてください。